



にかさい

江戸川区立第二葛西小学校

令和7年12月25日発行

「周りの人がいるから、自分がいる。」

副校长 横山 友美

「自分は、一人で生きてきたと思っていたけれど、多くの人に支えてもらっていたことを知りました。周囲へ感謝をするという意味が、ようやく分かりました。周りの人がいるから、自分がいるんですね。」

以前、高校3年生になった卒業生が伝えてくれた言葉です。小学生の頃は集団に馴染むことが難しく、「みんなと一緒に」がとても辛かったお子さんでした。文化祭の発表を生徒会副会長として立派に取り仕切り、生徒代表としての言葉を述べた後、「おめでとう。よく頑張りましたね。」と声を掛けに行った時に、言ってくれました。私は、二宮尊徳の「人は一人では生きていけない。互いに助け合って生きるのが人間の道だ。」という言葉を思い出し、「人が周囲の人との関係性の中で、互いに尊重し、支え合い、よさを生かし合えるようにしたい。」という思いを強くしました。

本校においても、2学期もたくさんの方に支えていただきました。猛暑の様々な対策、生活科・社会科見学などの校外学習、6年生の体育大会・日光移動教室、音覧会など、皆様のご理解とご協力があってこそ、実施することができました。そして、PTA主催の二葛西まつりは、PTAを中心におやじの会、地域の皆様の温かいご協力の中、子どもたちはとても楽しんでいました。エアコンの故障やインフルエンザの流行等もありましたが、皆様にご協力・ご対応いただいたことで、乗り切ることができました。

また、音覧会アンケート、学校評価のアンケートへのご協力もありがとうございます。アンケートの結果等を受けて、さらなる改善・充実に取り組んでまいります。

そして、12月は個人面談を実施し、保護者の皆様とお子さんの様子や成長についてお話しすることができました。本日は終業式を行い、担任から子どもたち一人一人に通知表を手渡し、2学期に頑張ったところ、3学期以降にどういう努力をすると、さらに伸びるかについて伝えています。人は、「自分は、価値のある人間だ。」「私なら、できる。」と感じられた時に、力を発揮し、成長します。ぜひご家庭で話題に挙げていただき、努力や成長を認め、励ましていただけますと幸いです。

令和8年も、教職員一同「チーム@二葛西」として、子どもたちが互いに尊重し、支え合い、よさを生かし合えるように日々精進し、「一人一人の子どもの笑顔が光り輝く学校」を目指してまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願ひいたします。

年内も、残り余日となりました。令和8年が、皆様にとって穏やかで幸多き一年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。

樹木は葉を落としましたが、
桜には、小さく硬く、
蕾ができて
いました。
春を待つ



1年生が、育てたあさがおの
つるで作つたリースです。 